



夕暮れの雲の果てをみていると物思いに沈んでしまつ。空のかなたの、手の届かない人に恋しているの、という歌です。手の届かない人というのは、身分の違いだったのか、片思いだったのか、あるいは会えない場所に住む人か。作者の真意は分かりませんが、人を慕う心は、夕焼けのようになく美しく、私たちの胸にも迫ります。

今日の歌

夕暮れは
雲のはたてに物ぞ思ふ
天つ空なる人を恋ふとて

読人知らず（古今和歌集）

もしバナ体験会のご案内

もしバナ体験会は、清瀬もしバナ会と救世軍清瀬病院が共催する「もしバナゲーム」の体験イベントです。

「もしバナゲーム」とは、もしもの時のことを考えてみるゲームです。年齢や性別を問わず、できるだけ多くの人に体験していただきたいと思います。詳しい説明は裏面をお読みください。

次の開催

日時 2024年10月19日（土）
13時30分～15時00分 [13時開場]

場所 清瀬市竹丘 1-17-9
救世軍清瀬小隊 第2ホール **無料**

お申し込みは右のQRコード、おハガキまたは下記のメールアドレス宛に、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入して送ってください。

代表 高橋

kiyose-moshibana@jpn.salvationarmy.org

ホスピス緩和ケア病棟 説明・見学会

10月12日は、世界ホスピス緩和ケアデー。それにちなみ、左記のもしバナ体験会に加えて、ホスピス緩和ケア病棟 説明・見学会をおこないます。当院ホスピス緩和ケア病棟の大切にしていることなどをご説明し、病棟を見学していただきます。（当日の感染状況などにより、写真閲覧などの方法に変更する場合があります）

日時 2024年10月19日（土）15時00分～16時00分

場所 清瀬市竹丘 1-17-9 救世軍清瀬小隊 第2ホール

参加ご希望の方は、右のQRコードまたはおハガキ（氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記載）でお申し込みください。





救世軍清瀬病院の思い

救世軍清瀬病院は、ホスピス緩和ケア病棟だけではなく、広い意味で人生のエンドステージを過ごす患者様のお世話をしています。患者様一人ひとりを大切にすることは、患者様の価値観、人生観など、一人ひとりの考えを大切にすることです。

ACP(人生会議)と「もしバナゲーム」

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)は人生会議と訳され、もしもの時のために自分の最期を見据え、自分が何を大切にしているのか、考えたり話したりしておこう、というものです。

「もしバナゲーム」は、より具体的にそのことを考える道具として作られたカードゲームです。清瀬もしバナ会では定期的に体験会をおこなっています。ぜひご参加ください。



清瀬もしバナ会の活動

清瀬もしバナ会は、当院ホスピス緩和ケア病棟に携わる看護師、医療相談員、管理栄養士、チャプレンから結成されたチームです。地域の方々にACP(アドバンス・ケア・プランニング)について知る機会、ともに学び、考える機会を提供することで地域貢献したい、そして当院をもっと身近に感じていただきたい、という願いから始まっています。

The Salvation Army Kiyose Hospital



救世軍清瀬病院

救世軍清瀬病院は、ホスピス緩和ケア病棟、医療療養病棟、介護医療院の3つの部署をもつ病院です。病気のこと、入院・療養のことなど、お困りごとがあれば、当院の医療相談員がご相談に応じます。

医療相談室 直通電話
(平日 9時～17時)

042-491-1412